

『medicina』 第52巻 総目次

2015年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(4号(増刊号)は11頁以降に掲載.)

【特集】

■ 循環器薬 up to date 2015

〈座談会〉

beyond EBM の循環器薬処方実践学

……………木原 康樹・一色 高明・猪又 孝元・弓野 大 8(1)

〈急性期治療〉

救急蘇生・心原性ショック

……………佐々木隆徳・林 寛之 16(1)

急性心不全……………猪又 孝元 20(1)

急性冠症候群……………藤野 雅史・石原 正治 24(1)

急性肺血栓塞栓症, 静脈血栓症……………山田 典一 30(1)

〈慢性期治療—日常遭遇する疾患〉

慢性虚血性心疾患……………奈良 有悟・一色 高明 35(1)

高血圧……………大蔵 隆文・檜垣 実男 38(1)

上室性頻拍性不整脈

……………逸見 隆太・庄田 守男 42(1)

心房細動……………鈴木 信也・山下 武志 46(1)

心室性不整脈……………吉田 幸彦 52(1)

拡張型心筋症……………絹川弘一郎 58(1)

下肢末梢動脈疾患……………曾我 芳光 64(1)

〈慢性期治療—しばしば遭遇する疾患〉

PCI・CABG と抗血小板療法……………中川 義久 68(1)

冠縮性狭心症……………本田 怜史・安田 聡 72(1)

左室収縮能の維持された心不全(HFpEF)

……………加藤真帆人 75(1)

弁膜症……………大倉 宏之 81(1)

肥大型心筋症……………南 雄一郎・志賀 剛 84(1)

肺高血圧症……………福井 重文・中西 宣文 88(1)

〈併存症と循環器薬〉

脂質異常症と動脈硬化

……………内藤 亮・宮内 克己 94(1)

メタボリック症候群……………安田 知行 98(1)

糖尿病

……………藤田 晃輔・岩永 善高・宮崎 俊一 104(1)

脳血管障害

……………久保 智司・細見 直永・松本 昌泰 110(1)

慢性腎臓病(CKD)……………安齊 俊久 114(1)

高齢者の循環器薬……………高山 成政・甲斐 久史 118(1)

〈循環器領域における主要薬剤の使い分け〉

ACE 阻害薬と ARB……………浦田 秀則 123(1)

ワルファリンと新規経口抗凝固薬(NOAC)

……………鈴木 信也・山下 武志 130(1)

サイアザイド系利尿薬とミネラルコルチコイド

受容体拮抗薬

……………中田耕太郎・小武海公明・吉村 道博 134(1)

ループ利尿薬とバゾプレッシン受容体拮抗薬

……………岩永 善高 138(1)

アスピリンとその他の抗血小板薬

……………田口 英詞・中尾 浩一 144(1)

■ ウイルス肝炎の薬物治療—変わりゆく治療戦略

〈座談会〉

C型肝炎の撲滅に向けて

……………海老沼浩利・加藤 直也・

忠願寺義通・黒瀬 巖 212(2)

〈ウイルス肝炎の正しい理解〉

肝炎ウイルスの検査項目と意義……………池上 正 221(2)

急性ウイルス肝炎の近年の動向と感染源

……………徳永 堯之・田中 基彦・佐々木 裕 226(2)

慢性肝炎の進展度と新たな線維化測定法

……………海老沼浩利 230(2)

B型肝炎の自然経過と発癌リスク

……………加藤 直也・室山 良介 238(2)

C型肝炎の自然経過と発癌リスク

……………建石 良介・小池 和彦 243(2)

肝炎ウイルスの肝外病変

……………近藤 泰輝・下瀬川 徹 248(2)

ウイルス性肝炎の増悪因子……………堀江 義則 252(2)

肝炎ウイルス感染に対する予防と対策

……………中山 伸朗 258(2)

〈ここまで変わったウイルス肝炎の治療〉

【急性肝炎】

危険な急性肝障害の見分け方……………井上 和明 263(2)

【B型慢性肝炎】

B型慢性肝炎の治療……………保坂 哲也 268(2)

B型肝炎に対するペグインターフェロン治療

……………黒崎 雅之 272(2)

B型慢性肝炎に対する核酸アナログ治療

……………松本 晶博 277(2)

テノホビルに適応とその治療効果

……………佐々木玲奈・神田 達郎・横須賀 収 283(2)

HBV 薬剤耐性変異とその対応……………坂本 穰 286(2)

【C型慢性肝炎】

C型慢性肝炎の治療……………鈴木 文孝	291(2)
C型慢性肝炎に対するインターフェロン治療の変遷 ……………平松 直樹	296(2)
C型慢性肝炎における治療効果予測因子 ……………松浦健太郎・田中 靖人	300(2)
C型慢性肝炎に対するDAAs併用インターフェロン 治療(テラプレビル, シメプレビル, パニプレビル) ……………須田 剛生・坂本 直哉	305(2)
C型慢性肝炎に対するダクラタスビル/アスナプレビ ル療法……………今村 道雄・茶山 一彰	308(2)
今後使用可能になるであろう新規抗ウイルス薬と薬剤 耐性問題……………朝比奈靖浩	314(2)
C型慢性肝炎難治症例への対応～高齢者 …熊田 卓・豊田 秀徳・多田 俊史	319(2)
C型慢性肝炎難治症例への対応～肝線維化進行例 …古庄 憲浩・小川 栄一・林 純	322(2)
〈ウイルス肝炎に対する代替・補助療法〉 肝庇護剤による肝機能安定化…矢田 豊	326(2)
インターフェロン少量長期投与による発癌抑制 ……………岡村 幸重	329(2)
増悪因子としての鉄と瀉血療法 ……………杉本 和史・竹井 謙之	333(2)
抗癌剤や免疫抑制療法による肝炎ウイルス再活性化と その対策……………楠本 茂	336(2)
HIV合併例に対するウイルス肝炎治療 ……………四柳 宏	341(2)
ウイルス肝炎症例に対する肝移植—その適応と課題 …河地 茂行・篠田 昌宏・島津 元秀	344(2)
ウイルス性慢性肝炎・肝硬変に対する栄養療法・運動 療法 …白木 亮・華井 竜徳・森脇 久隆	350(2)
B型肝炎ウイルスに対するワクチンの現状と課題 ……………是永 匡紹・溝上 雅史	353(2)

■ がんを診る

〈座談会〉

腫瘍内科の未来を考える

……………高野 利実・田村 研治・ 加藤 俊介・西 智弘	428(3)
---------------------------------	--------

〈腫瘍内科のビジョンとミッション〉

日本における腫瘍内科の歴史と展望

……………西條 長宏	436(3)
------------	--------

新専門医制度と「がん薬物療法専門医」

……………満間 綾子・安藤 雄一	440(3)
------------------	--------

内科学のサブスペシャリティとしての腫瘍内科学

……………石岡千加史	444(3)
------------	--------

腫瘍内科医を目指す人たちへ…中川 和彦

〈がん医療の意味を考える〉

がん検診は必要か？

……………菅野 哲平・勝俣 範之	452(3)
------------------	--------

抗がん剤論争を考える……………宮本 信吾	456(3)
がん情報の見分け方……………後藤 悌	460(3)
補完代替医療の考え方	

……………上元 洵子・金 容壺	464(3)
-----------------	--------

〈内科医ががんを診るということ〉

がん医療におけるチーム医療の必要性

……………佐々木裕哉	468(3)
------------	--------

乳癌・婦人科癌診療における内科医の役割

……………松本 光史	474(3)
------------	--------

泌尿器がん診療における内科医の役割

……………三浦 裕司	478(3)
------------	--------

甲状腺癌診療連携プログラムの取り組み

……………田村 研治	482(3)
------------	--------

希少がんへの取り組み……………公平 誠

……………杉山 絢子	490(3)
------------	--------

緩和ケアと腫瘍内科の連携……………西 智弘

……………東 光久	498(3)
-----------	--------

〈一般内科医が知っておくべきがん薬物療法のマネジ
メント〉

分子標的治療薬の最新の動向

…加藤 俊介・三浦 佳代・山口 茂夫	502(3)
--------------------	--------

好中球減少症のマネジメント—G-CSFの適正使用

……………内野 慶太	508(3)
------------	--------

悪心・嘔吐のマネジメント

…森 竜久・本田 健・関 順彦	513(3)
-----------------	--------

手足症候群・皮膚障害のマネジメント

……………伊澤 直樹・中島 貴子	517(3)
------------------	--------

間質性肺炎のマネジメント

…細田 千晶・千野 遙・加藤 晃史	522(3)
-------------------	--------

末梢神経障害のマネジメント…赤塚壮太郎

……………陶山 浩一	530(3)
------------	--------

B型肝炎ウイルス再活性化対策…楠本 茂

……………尾崎由記範・高野 利実	542(3)
------------------	--------

がん患者の緊急症(オンコロジック・エマージェンシ
ー)……………尾崎由記範・高野 利実

■ 救急疾患、重症はこうして見極める—いつまでも ヤブと思うなよ！

〈座談会〉

中高年医師の逆襲

…山中 克郎・中西 重清・仲田 和正	614(5)
--------------------	--------

〈症例問題〉

80歳男性 発熱……………成田 雅

……………北村 淳	621(5)
-----------	--------

36歳男性 発熱, 下痢……………北村 淳

……………竹内 元規	623(5)
------------	--------

40歳女性 発熱, 悪寒……………竹内 元規

……………成田 雅	625(5)
-----------	--------

87歳女性 発熱, 悪寒戦慄……………成田 雅

……………入江聰五郎	629(5)
------------	--------

65歳男性 発熱……………入江聰五郎

……………笹木 晋	631(5)
-----------	--------

56歳男性 不明熱……………笹木 晋

……………忽那 賢志	633(5)
------------	--------

21歳女性 発熱, 頭痛, 関節痛, 皮疹

……………忽那 賢志	635(5)
------------	--------

46 歳男性	発熱, 頭痛, 筋肉痛…	忽那 賢志	637(5)
85 歳女性	顔面痛……………	山中 克郎	639(5)
35 歳男性	顔面の違和感 ……………	竹内 元規・坂井 正弘	641(5)
31 歳女性	頭痛……………	安藤 裕貴	645(5)
23 歳男性	発熱, 咽頭痛…………	忽那 賢志	649(5)
66 歳女性	頭痛……………	森永 康平	651(5)
41 歳女性	頭痛, 嘔気……………	宇藤 薫	655(5)
42 歳女性	体がだるい……………	安藤 裕貴	657(5)
61 歳女性	頭痛, 嘔気・嘔吐…………	継 仁	661(5)
53 歳男性	めまい……………	濱田 卓也	663(5)
79 歳男性	めまい, 後頭部痛…	宇藤 薫	665(5)
73 歳女性	倦怠感, 呼吸苦…………	伊藤 裕司	667(5)
71 歳女性	咳嗽……………	伊藤 裕司	669(5)
57 歳女性	息切れ, 呼吸困難…………	成田 雅	671(5)
42 歳男性	睡眠中の呼吸困難?…	丸井 伸行	673(5)
59 歳男性	心肺停止……………	丸井 伸行	677(5)
83 歳女性	心窩部痛, 嘔吐…………	入江聰五郎	681(5)
72 歳男性	発熱, 背部痛……………	竹内 元規	683(5)
36 歳女性	左下腹部痛……………	北村 淳	687(5)
81 歳男性	背中と両側肩甲骨あたりの痛み ……………	宇藤 薫	689(5)
9 歳女児	発熱, 腰痛……………	森永 康平	693(5)
36 歳女性	高 CPK 血症, 肝機能異常 ……………	吉岡 靖展	695(5)
61 歳女性	背部痛, 腹痛……………	北村 淳	697(5)
64 歳男性	腹痛……………	吉岡 靖展	699(5)
9 歳女児	右下腹部痛……………	継 仁	701(5)
50 歳女性	右背部痛……………	笹木 晋	703(5)
80 歳男性	右上肢を動かさない…	吉岡 靖展	705(5)
29 歳男性	関節痛……………	安藤 裕貴	708(5)
4 歳男児	左手を痛がって動かさない ……………	小淵 岳恒	713(5)
22 歳女性	突然発症の上肢強直性痙攣 ……………	入江聰五郎	715(5)
1 歳 2 カ月女児	突然の歩行困難 ……………	継 仁	717(5)
60 歳女性	右下腿の痛み……………	小淵 岳恒	719(5)
85 歳女性	脱力, 倦怠感……………	伊藤 裕司	723(5)
38 歳女性	全身の痛み, 嘔吐…………	山中 克郎	725(5)
62 歳男性	意識レベル低下…………	笹木 晋	727(5)
68 歳男性	なし(定期外来受診) ……………	森永 康平	729(5)
90 歳女性	なんとなく様子がおかしい ……………	小淵 岳恒	733(5)
〈私の勉強法と若手医師の育て方〉			
私流まとめノートの作り方…………			高岸 勝繁 736(5)
次世代リーダーの学び方の提案…			志水 太郎 740(5)
学びほぐす“unlearn”……………			佐藤 泰吾 743(5)
私の勉強法と野獣クラブ……………			小野 正博 746(5)

ナラティブから学ぶという方法…宮崎 仁 752(5)

■ 感染症診療 それ、ホント?

〈座談会〉

常識と非常識から感染症診療の基本を振り返る

……………松永 直久・岸田 直樹・
遠井 敬大・佐藤 高央 818(6)

〈総論編〉

体温と CRP だけに注目してはいけないってホント?

感染症診療の基本について…松永 直久 828(6)

治療期間は疾患によってある程度決まっているってホント?……………柳 秀高 835(6)

抗菌薬投与中に「熱が持続」あるいは「再度発熱」した場合には、別の抗菌薬に変えればいいってホント?……………法月正太郎 838(6)

〈外来編〉

39℃の発熱でも抗微生物薬が不要のことがあるってホント?……………岸田 直樹 842(6)

外来で 1 週間以上発熱が続く患者の診かたにコツがあるってホント?……………野口 善令 845(6)

渡航者の発熱でも診療の基本は同じってホント?……………忽那 賢志 850(6)

肝炎や咽頭炎でも性感染症のことがあるってホント?……………村松 崇 854(6)

診療所でもグラム染色ができるってホント?……………本康 宗信 858(6)

診療所でも血液培養ができるってホント?……………遠井 敬大 861(6)

感染性腸炎でも抗菌薬を処方しなくていいことがあるってホント?……………倉井 華子 864(6)

腸管出血性大腸菌感染症(血清型 O157 など)に抗菌薬は危険ってホント?……………大路 剛 868(6)

調理師から病原性大腸菌の除菌を頼まれたけど、抗菌薬を投与しなければいけないってホント?……………中村 朗 872(6)

フルオロキノロン系薬の投与には慎重にならなければいけないってホント?……………森岡慎一郎 876(6)

外来で経口マクロライド系薬を使う機会は限られているってホント?……………朽谷健太郎 879(6)

外来で経口第 3 世代セファロスポリン系薬を使う機会は限られているってホント?……………彦根 麻由・相野田祐介 882(6)

外来に毎日来てもらってセフトリアキソンを投与することがあるってホント?……………馳 亮太 887(6)

インフルエンザ患者には、すべて抗インフルエンザ薬が必要ってホント?……………畠山 修司 892(6)

〈入院編〉

感染症のフォーカスがはっきりしない場合でも、診断を絞っていく方法があるってホント?

……………藤田 崇宏 896(6)

感染症(肺炎, 尿路感染症, 蜂窩織炎など)で入院する患者には, 血液培養を提出する必要があるってホント?.....根本 隆章 901(6)

繰り返す蜂窩織炎を伴う菌血症で, *Helicobacter cinaedi* という菌が検出されるってホント?.....荒岡 秀樹 904(6)

菌血症がきっかけで悪性腫瘍が見つかることがあるってホント?.....見坂 恒明 908(6)

肺炎を疑う患者では, 痰のグラム染色・培養を提出する必要があるってホント?.....矢野 勇大・八重樫牧人 910(6)

喀痰抗酸菌塗抹検査で1回陰性でも, 排菌している肺結核が見つかることがあるってホント?.....竹田 宏 914(6)

ドレナージできている胆道感染症では, 菌血症事例でも5日間の抗菌薬投与で十分ってホント?.....横江 正道 918(6)

グラム陽性球菌菌血症の場合, 陰性確認の血液培養が必要ってホント?.....関谷 紀貴 923(6)

de-escalationの時にMICの低い抗菌薬が良いわけではないってホント?.....有馬 丈洋 926(6)

大腸菌菌血症でも比較的狭域なアンピシリンで治療できる場合があるってホント?.....吉藤 歩 932(6)

Enterobacter 属の難治性感染症で, 第3世代セファロスポリン系薬が効かなくなることがあるってホント?.....原田 壮平 936(6)

ESBL産生大腸菌による尿路感染症でカルバペネム系以外も治療の選択肢になることがあるってホント?.....山口 征啓 940(6)

入院時に培養を提出せずにカルバペネム系薬などの広域抗菌薬を始めてしまった場合でも, de-escalationできるってホント?.....小林 勇仁・中村 造 944(6)

バンコマイシンの初期投与設計や血中濃度に基づく投与量の調節にはコツがあるってホント?.....添田 博 947(6)

血管内留置カテーテル関連菌血症の症例で, カテーテルを抜去して抗菌薬を投与しても, 菌血症が持続することがあるってホント?.....松永 直久 952(6)

感染症のために予定手術を延期した患者が手術を受けられるまでの期間に目安があるってホント?.....矢口 義久・福島 亮治 956(6)

感染症があっても悪性疾患の化学療法を始めなければならないケースがあるってホント?.....馬渡 桃子 958(6)

中心静脈ポート感染を, ポートを抜去せずに治療できるってホント?.....冲中 敬二 961(6)

■心不全クロニクル 患者の人生に寄り添いながら診る

〈座談会〉

今後の5年間で克服すべき心不全領域の課題

.....加藤真帆人・坂田 泰史・

佐藤 直樹・麻野井英次 1034(7)

〈総論：心不全のオーバービュー〉

【心不全とは何だろう?】

慢性心不全管理とは「線」を知って「点」に向き合うこと.....加藤真帆人 1044(7)

〈入院管理：速やかに血行動態を改善する〉

【急性期：起座呼吸に対処する】

起座呼吸発症の機序 交感神経亢進

.....岸 拓弥 1050(7)

血管拡張薬 硝酸薬, カルベリチド, ニコランジル

.....秋山 英一・木村 一雄 1054(7)

非侵襲的陽圧換気(NIPPV)

.....鳴原 祥太・佐藤 直樹 1058(7)

【急性期：心原性ショックに対処する】

強心薬 カテコラミン, PDEⅢ阻害薬

.....梶本 克也 1062(7)

機械的補助 IABP, PCPS.....岡島 正樹 1066(7)

【移行期：体液過剰を整える】

体液過剰発症の機序 RAA系などの体液性因子の亢進.....吉村 道博 1072(7)

利尿薬 フロセミド, トルパブタン

.....末永 祐哉 1076(7)

血液浄化療法.....阿部 雅紀 1080(7)

【退院前：再発予防のために】

心不全再入院患者の特徴と対策

.....坂田 泰彦・下川 宏明 1086(7)

心不全患者・および家族への教育指導

.....林 亜希子 1090(7)

心不全治療としての栄養介入の可能性と教育指導

.....永井 利幸・岩上 直嗣・安斉 俊久 1094(7)

心不全に合併する睡眠呼吸障害.....高田 佳史 1098(7)

〈外来管理：慢性と急性の連鎖を断ち切る〉

【左室収縮能が低下した心不全(HFrEF)への薬物治療】

β遮断薬・RAAS阻害薬.....朝倉 正紀 1104(7)

ジギタリス.....矢崎 義行・中村 正人 1108(7)

ピモベンダン 外来管理の問題点

.....原田 和昌 1112(7)

フロセミド.....猪又 孝元 1116(7)

【左室収縮能が維持された心不全(HFpEF)への薬物治療】

HFpEFに対する新しい治療薬 その治療のターゲット.....衣笠 良治・山本 一博 1119(7)

HFpEFへの既存の治療薬はなぜ十分な効果が得られないのか?.....塚本 泰正・坂田 泰史 1122(7)

【再入院予防のための包括的取り組み】

自宅でもできる外来心不全患者の運動療法
……………安達 仁 1126(7)

〈重症心不全に挑む〉

【非薬物治療の現状と展望】

心臓再同期療法(cardiac resynchronization therapy)
……………中井 俊子 1130(7)

体外式および植込み型補助人工心臓(VAD)
……平澤 憲祐・藤原 立樹・磯部 光章 1133(7)

経カテーテル大動脈弁植え込み術(TAVI)
……………桃原 哲也 1138(7)

心臓移植医療……………中谷 武嗣 1142(7)

心筋再生医療……………澤 芳樹 1148(7)

〈終末期医療〉

【末期の苦痛と不安を取り除く】

末期心不全の治療ゴールをどう考えるか
……………麻野井英次 1154(7)

末期心不全の緩和ケア……………佐藤 幸人 1158(7)

末期心不全を在宅でみる……………弓野 大 1161(7)

〈チーム医療の必要性〉

【多職種合同チーム医療の実践】

なぜ、いまハートチームが必要なのか？
……………眞茅みゆき 1166(7)

地域連携と心不全パス 地域で診る意義と実践
……………北川 知郎・木原 康樹 1170(7)

■ 自信がもてる頭痛診療

〈座談会〉

頭痛で駆け込んできた患者さんをどう診るか？
……平田 幸一・寺田 雅彦・竹島多賀夫 1242(8)

〈頭痛診断の実際〉

問診の重要性と診療コミュニケーションツール
—頭痛の確定診断への最短コースは？

頭痛ダイアリーって？……………竹島多賀夫 1250(8)
診察法と補助診断法は？

……古和 久典・瀧川 洋史・中島 健二 1254(8)
頭痛の鑑別—外来での危険な頭痛の見分け方は？

……………清水 俊彦 1258(8)
頭痛診療に役立つ画像検査……………加藤 大貴 1262(8)

〈まずは見逃してはならない危険な二次性頭痛を診る〉
救急に来る頭痛は？……………立花 久大 1268(8)

中枢神経感染症による頭痛を見逃さないためには？
……………山崎 薫・菱田 良平 1272(8)

walk-in SAH(歩いてくるくも膜下出血)って？
……………間中 信也 1276(8)

椎骨動脈解離・脳静脈血栓症とはどのようなものか
……………菊井 祥二・竹島多賀夫 1282(8)

雷鳴頭痛—RCVSとは何か……………平野 照之 1286(8)
見逃してはならない側頭動脈炎……………大和田 潔 1290(8)

〈なんといっても頻度の高い一次性頭痛を診る〉

【片頭痛】

片頭痛の診断の肝は？……………寺山 靖夫 1294(8)
Column 不思議の国のアリス症候群

……………工藤 雅子 1296(8)

片頭痛急性期治療の実際—トリプタンの本当の使い方
……………清水 利彦 1298(8)

片頭痛予防薬の使い方最前線—最新の頭痛予防治療の
ノウハウは？……………立岡 良久 1302(8)

小児・思春期の片頭痛患者が来たら？トリプタンは使
えるのか……………藤田 光江 1306(8)

Column 頭痛のガイドラインと分類の進化
……………荒木 信夫 1309(8)

【緊張型頭痛】

緊張型頭痛の診断と治療—どこまでが緊張型頭痛
なのか……………大熊 壮尚・北川 泰久 1310(8)

【群発頭痛】

群発頭痛の病態・治療—治療の実際とノウハウは？
……………今井 昇 1316(8)

三叉神経・自律神経性頭痛—その特徴と鑑別のポイン
トは？……………柴田 護 1320(8)

Column 片頭痛診療におけるアロディニアの診断と
治療……………西郷 和真 1325(8)

〈さまざまな二次性頭痛を診る〉

薬剤の使用過多による頭痛(薬物乱用頭痛)—どのよう
に診断し治療するか

……渡邊 由佳・星野 雄哉・平田 幸一 1326(8)
頭蓋・頸椎異常と頭痛—頸性頭痛は本当にあるのか

……………住谷 昌彦・四津 有人 1330(8)
眼科疾患と頭痛—緑内障との鑑別、片頭痛の光過敏の

対処を含めて……………辰元 宗人・石井洋次郎 1334(8)
耳鼻咽喉科疾患と頭痛—片頭痛と副鼻腔炎、片頭痛と

めまい……………五島 史行 1338(8)
顎関節症と頭痛……………和嶋 浩一 1341(8)

精神疾患と頭痛—内科で行える治療とコンサルティン
グのタイミング

……内田さやか・中村 祐三・端詰 勝敬 1344(8)
三叉神経痛と顔面痛—多様な顔面痛をいかに鑑別する

か……………高橋 牧郎 1348(8)

〈頭痛をめぐるトピックス〉

片頭痛関連脳血管障害—片頭痛は脳梗塞の危険因子か
……………永田栄一郎 1353(8)

妊娠・授乳期と頭痛—安全な頭痛治療とは？
……………五十嵐久佳 1356(8)

睡眠と頭痛は関係あるのか

……鈴木 圭輔・渡邊 悠児・平田 幸一 1360(8)
頭痛外来と病診連携—頭痛外来と関連科、地域でのあ

り方は？……………橋本洋一郎・渡利 茉里・
阪本 徹郎・伊藤 康幸 1363(8)

新しい治療薬—CGRPとは？

……滝沢 翼・清水 利彦・鈴木 則宏 1366(8)

■ 外来で出会う呼吸器 common 疾患

〈座談会〉

外来で診る呼吸器疾患

…松瀬 厚人・磯部 和順・石田 一雄 1440(9)

〈呼吸器系の common 症状〉

慢性咳嗽への対応……………新実 彰男 1448(9)

喀痰への対応……………玉置 淳 1452(9)

呼吸困難への対応

……………佐藤 輝幸・一ノ瀬正和 1457(9)

胸痛への対応

…松浦有紀子・寺田 二郎・巽 浩一郎 1460(9)

〈呼吸器系の身体診察と外来で行える検査法〉

呼吸器系の身体診察—視診・触診・打診・聴診

……………原永 修作・藤田 次郎 1466(9)

胸部単純 X 線検査—診断に役立つ読影のポイント

……………芦澤 和人 1470(9)

肺機能検査—スパイロメトリーの適応と評価

……………橋本 修 1476(9)

血液ガスとパルスオキシメーター測定法と評価

……………桑平 一郎 1482(9)

強制オシレーション法—適応と臨床的意義

…柴崎 篤・田村 弦・黒澤 一 1486(9)

呼気 NO 測定—適応と臨床的意義

…川山 智隆・木下 隆・星野 友昭 1494(9)

肺音検査—臨床応用への期待…下田 照文 1499(9)

〈呼吸器系の外来治療総論〉

吸入薬—選択基準と指導のポイント

……………堀口 高彦 1504(9)

抗菌薬—何をどう使うか

……………梅木 健二・門田 淳一 1510(9)

全身性ステロイド薬—使用のポイントと注意点

…石本 裕士・矢寺 和博・迎 寛 1514(9)

在宅酸素療法—適応と外来診療の注意点

……………蝶名林直彦・富島 裕 1520(9)

ワクチン—肺炎球菌とインフルエンザ

……………宮下 修行 1526(9)

外来呼吸リハビリテーション—外来での適応と効果

…塩谷 隆信・佐竹 将宏・高橋 仁美 1532(9)

〈呼吸器系の common 疾患〉

気管支喘息—診断と外来でのマネジメント

……………東本 有司・東田 有智 1538(9)

COPD—診断と外来でのマネジメント

……………平田 一人・浅井 一久 1542(9)

かぜ症候群—外来での対応……………山本 善裕 1546(9)

市中肺炎—外来での対応と入院の適応

……………今村 圭文・河野 茂 1549(9)

医療・介護関連肺炎—外来での対応と入院の適応

……………関 雅文 1553(9)

結核・非結核性抗酸菌症—外来での対応と感染制御

……………樽本 憲人・大野 秀明 1557(9)

間質性肺炎—外来での管理法と紹介のタイミング

……………杉野 圭史・本間 栄 1562(9)

睡眠時無呼吸症候群—外来での対応

……………吉村 力・安藤 真一 1565(9)

肺高血圧症—外来での管理法……………渡辺憲太郎 1568(9)

気胸—外来での対応

……………中野 千裕・松瀬 厚人 1575(9)

肺癌—外来化学療法と緩和医療

……………弦間 昭彦・武内 進 1579(9)

■ 内科プライマリケアのための消化器診療 Update

〈座談会〉

消化器診療の賢い選択

～Choosing Wisely in Gastroenterology～

…上野 文昭・徳田 安春・小林 健二 1656(10)

〈食道・胃・十二指腸疾患〉

胃食道逆流症 (GERD)

…春間 賢・眞部 紀明・末廣 満彦 1666(10)

急性胃炎・急性胃粘膜病変……………洲崎 文男 1670(10)

消化性潰瘍……………梅垣 英次・東 健 1673(10)

H. pylori 感染症……………佐藤 祐一 1678(10)

機能性ディスペプシア

…山脇 博士・二神 生爾・岩切 勝彦 1682(10)

上部消化管出血 (静脈瘤以外)

…出口 隆造・白石 光一・峯 徹哉 1688(10)

上部消化管出血 (静脈瘤性出血)……………今枝 博之 1691(10)

胃がん……………船越 信介・酒井 元 1696(10)

〈小腸・大腸疾患〉

急性下痢症……………小林 健二 1700(10)

慢性便秘症……………加藤 順 1704(10)

過敏性腸症候群……………千葉 俊美 1708(10)

潰瘍性大腸炎

…小林 拓・中野 雅・日比 紀文 1714(10)

Crohn 病……………長堀 正和 1718(10)

大腸憩室症……………水城 啓・永田 博司 1722(10)

薬剤性小腸傷害……………金子 剛・溝上 裕士 1727(10)

急性虫垂炎

…吉田 篤史・森實 敏夫・上野 文昭 1730(10)

大腸がん

…荒川 敬一・川合 一茂・渡邊 聡明 1736(10)

〈肝疾患〉

急性ウイルス肝炎……………柴田 実 1740(10)

B 型慢性肝炎……………山田 典栄・四柳 宏 1743(10)

慢性 C 型肝炎……………平石 哲也・奥瀬 千晃 1748(10)

自己免疫性肝炎……………海老沼浩利 1752(10)

アルコール性肝障害……………森實 敏夫 1758(10)

非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)

……………本多 靖・今城 健人・

斉藤 聡人・中島 淳 1762(10)

非代償性肝硬変……………奥脇 裕介・渋谷 明隆 1767(10)

肝細胞癌……………平野 克治・市田 隆文	1770(10)
〈胆・膵疾患〉	
胆石症・急性胆嚢炎	
……………大屋 敏秀・田妻 進	1778(10)
急性胆管炎……………松浦 弘尚・乾 和郎・	
片野 義明・三好 広尚・	
山本 智支	1782(10)
急性膵炎……………宮田 直輝・朴沢 重成	1785(10)
慢性膵炎……………川口 義明	1790(10)
膵胆道がん	
……宮川 宏之・平山 敦・岡村 圭也	1794(10)
〈[特別寄稿]海外の医師が見た日本の消化器診療〉	
Some Reflections on Japanese Gastroenterology	
Practice(日本の消化器診療に対する一考察)	
……………Gabriel Symonds(上野 文昭, 訳)	1797(10)
Gastroenterology: Are we physicians or endosco-	
pists?(消化器病学: われわれは医師なのか, 内視鏡	
屋なのか?)	
……………George W. Meyer(上野 文昭, 訳)	1800(10)

■ いまアレルギー外来がおもしろい—安全で効果の 高い治療を使いこなす

〈座談会〉	
アレルギー外来を内科医が担う—最近の動向と治療の	
コツ	
……岡田 正人・山脇 功・萩野 昇	1868(11)
〈Overview〉	
アレルギーの診かた, 考えかた…岡田 正人	1876(11)
〈治療薬を使いこなす〉	
抗ヒスタミン薬…牧野 公治・尹 浩信	1882(11)
点眼薬……………内尾 英一	1886(11)
点鼻薬……………増山 敬祐・松岡 伴和・	
遠藤周一郎	1890(11)
皮膚外用薬—保湿剤とステロイド	
……………新井 達	1893(11)
吸入薬……………田上あさ子・町田健太郎・	
井上 博雅	1896(11)
ロイコトリエン受容体拮抗薬	
……………嶺崎 祥平・永田 真	1900(11)
全身性ステロイド…横地 律子・萩野 昇	1904(11)
舌下免疫療法……………後藤 穰	1909(11)
妊娠・授乳とアレルギー疾患治療薬	
……………後藤美賀子	1912(11)
アレルギー診療における東洋医学	
……………津田篤太郎	1916(11)
〈この病態をどう診断していくか, 危ない疾患を見逃	
さないために〉	
好酸球増加……………陶山 恭博	1921(11)
遷延性咳嗽……………藤村 政樹	1928(11)
痒み……………室田 浩之	1932(11)

〈アレルギーcommon diseaseの診断・治療・生活指導〉	
食物アレルギーの外来診療……………栗原 和幸	1936(11)
薬物アレルギーの診断と治療…池澤 善郎	1941(11)
アナフィラキシーの診断と治療…林 寛之	1948(11)
接触皮膚炎の診断と治療	
……………佐野 晶代・松永佳世子	1955(11)
蕁麻疹の診断と治療……………猪又 直子	1960(11)
職業性アレルギーの診断と治療…土橋 邦生	1966(11)
アレルギー性結膜疾患の生活指導と薬物治療	
……………高村 悦子	1970(11)
アレルギー性鼻炎の生活指導と薬物治療	
……………大木 幹文	1974(11)
アトピー性皮膚炎の生活指導と薬物治療	
……………正田 哲雄・大矢 幸弘	1979(11)
喘息の生活指導と薬物療法……………宮川 武彦	1984(11)

■ 外来で診るリンパ腫・骨髄腫—治療または長期共 存を目指して

〈座談会〉	
リンパ腫・骨髄腫患者のベストマネジメントを考える	
……飯田 真介・丸山 大・木下史緒理	2060(12)
〈Editorial〉	
リンパ腫・骨髄腫の疫学と疾患のスペクトラム	
……………飯田 真介	2068(12)
〈リンパ腫診療の進歩〉	
【診断と検査】	
リンパ腫を疑う症候と診断までの道筋	
……………丸山 大	2074(12)
リンパ腫の病型分類と臨床医への要望	
……………津山 直子・竹内 賢吾	2078(12)
リンパ腫診療における PET-CT	
……………伊豆津宏二	2082(12)
【診療指針】	
びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	
……………大間知 謙	2086(12)
Hodgkin リンパ腫……………永井 宏和	2090(12)
濾胞性リンパ腫……………福原 規子	2095(12)
MALT リンパ腫……………加藤 春美	2101(12)
慢性リンパ性白血病	
……………三宅 隆明・鈴宮 淳司	2105(12)
原発性マクログロブリン血症…関口 直宏	2110(12)
末梢性 T 細胞リンパ腫…坂田(柳元)麻実子	2115(12)
成人 T 細胞性白血病・リンパ腫…城 達郎	2120(12)
NK/T 細胞リンパ腫……………宮崎 香奈	2124(12)
リンパ腫診療における造血幹細胞移植療法の位置づけ	
……………金 成元	2128(12)
リンパ腫診療における HBV 再活性化対策	
……………楠本 茂	2134(12)
〈骨髄腫診療の進歩〉	
【病態】	

多発性骨髄腫の進展様式……………	田村 秀人	2140(12)
多発性骨髄腫における染色体・遺伝子異常と予後 ……………	半田 寛	2146(12)
【診断と検査】		
多発性骨髄腫の臨床症候と診断の道筋 ……………	伊藤 薫樹	2150(12)
骨髄腫患者の経過観察中に必要な検査 ……………	高松 博幸	2156(12)
【診療指針】		
移植適応例の初回治療戦略 ……………	山田 晴士・角南 一貴	2161(12)
移植不適応例の初回治療戦略 ……………	岸 慎治・山内 高弘	2166(12)
再発・難治症例の治療戦略……………	八木 秀男	2170(12)
新規薬剤使用時の注意点—副作用マネジメントを中心 に……………	稲垣 淳・飯田 真介	2175(12)
骨髄腫患者に合併する骨病変の発症機序とその管理 ……………	三木 浩和	2180(12)
骨髄腫の類縁疾患—POEMS 症候群と AL アミロイド ーシス……………	淵田 真一	2185(12)
〈リンパ系腫瘍に関する治療開発のトピックス〉		
B 細胞受容体および TLR シグナルとその阻害薬開発 ……………	照井 康仁	2190(12)
次世代シーケンスにより同定された遺伝子変異と治 療標的分子……………	富田 章裕	2196(12)
セレプロンを介した免疫調整薬—作用機序と今後の展 開……………	得平 道英・木崎 昌弘	2202(12)
リンパ腫に対する免疫チェックポイントを標的とした 抗体療法……………	錦織 桃子	2207(12)
リンパ系腫瘍に対する CAR-T 療法 ……………	永井 純正	2210(12)
■ 抗血栓療法—おさえておきたい最新のエッセンス		
〈座談会〉		
ベネフィットとリスクで考える抗血栓療法 ……………	中村 真潮・山下 武志・山本 剛	2284(13)
〈抗血栓療法オーバービュー〉		
抗血栓療法オーバービュー……………	中村 真潮	2292(13)
〈血栓症の病態をみる〉		
病理学的にみた血栓症 ……………	山下 篤・浅田祐士郎	2296(13)
凝固・線溶系のメカニズムと血栓形成 ……………	森下英理子	2300(13)
〈抗血栓薬の特徴を知る〉		
抗血栓薬 総論……………	窓岩 清治	2306(13)
抗血栓薬とモニタリング……………	西川 政勝	2312(13)
【抗凝固薬】		
ヘパリン類, フォンダパリクス ……………	小嶋 哲人	2318(13)
ビタミン K 阻害薬……………	和田 英夫・松本 剛史	2322(13)

非ビタミン K 阻害経口抗凝固薬(NOAC) ……………	篠内 和也・安部 晴彦・是恒 之宏	2326(13)
【抗血小板薬】		
抗血小板薬(アセチルサリチル酸・ADP 受容体阻害薬・ シロスタゾール)の特徴……………	堀内 久徳	2330(13)
【血栓溶解薬】		
ウロキナーゼ, 組織プラスミノゲン活性化因子 ……………	浦野 哲盟	2336(13)
〈抗血栓療法で治す〉		
【虚血性心疾患】		
急性冠症候群……………	中川 義久	2340(13)
冠動脈疾患の一次予防と二次予防 ……………	副島 弘文・小川 久雄	2344(13)
【不整脈】		
非弁膜症性心房細動 ……………	有田 卓人・山下 武志	2348(13)
【弁膜疾患】		
人工弁置換術後, 心臓弁膜症 ……………	藤田 知之・小林順二郎	2352(13)
【脳血管疾患】		
脳血管障害に対する抗血栓療法 ……………	友田 昌徳・桑城 貴弘・矢坂 正弘	2356(13)
急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法 ……………	出口 一郎・棚橋 紀夫	2359(13)
【静脈血栓塞栓症】		
静脈血栓塞栓症の一次予防……………	藤田 悟	2364(13)
静脈血栓塞栓症に対する抗凝固療法による治療 ……………	中村 真潮	2368(13)
静脈血栓塞栓症に対する血栓溶解療法 ……………	丹羽 明博	2372(13)
【末梢動脈疾患】		
末梢血管疾患(PAD)の薬物療法……………	古森 公浩	2376(13)
【特殊な病態】		
播種性血管内凝固症候群(DIC)……………	川杉 和夫	2380(13)
抗リン脂質抗体症候群……………	家子 正裕	2384(13)
〈日常診療で知りたい抗血栓療法〉		
妊娠中ならびに授乳中における抗血栓療法の注意点 ……………	渡辺 員支・若槻 明彦	2390(13)
癌患者における抗血栓療法……………	向井 幹夫	2394(13)
周術期における抗血栓療法の管理方法 ……………	池田 正孝・畑 泰司・ 関本 貢嗣・左近 賢人	2399(13)
消化器内視鏡時の抗血栓療法的実際		
……………	平山 慈子・小野 敏嗣・藤城 光弘	2403(13)
歯科外科処置での抗血栓療法的実際		
……………	矢郷 香	2407(13)
透析患者と抗血栓療法……………	猪阪 善隆	2413(13)
心房細動症例での冠動脈ステント治療 ……………	伊荊 裕二	2416(13)

【異常所見を探せ！ 救急 CT 読影講座】

単純 CT を無下にしない！……石田 尚利 1, 156(1)
common disease だけど、難しい！?

……………石田 尚利 205, 368(2)
似て非なるもの……………石田 尚利 421, 586(3)
“白さ”と“左右差”に注目！

……………石田 尚利 607, 786(5)
胸だけでなく足も見よう……石田 尚利 811, 971(6)
CT の得手不得手……………石田 尚利 1027, 1179(7)
外堀埋め作戦……………石田 尚利 1235, 1411(8)
一息ついて考えよう！……石田 尚利 1433, 1627(9)
症状画像相関：軽微な所見を拾いにいこう！

……………石田 尚利 1649, 1809(10)
個人差を念頭に……………石田 尚利 1861, 2034(11)
管を丁寧に追跡せよ……………石田 尚利 2053, 2221(12)
確実に異常なガス像を捉えよう
……………石田 尚利 2277, 2436(13)

【魁!! 診断塾】

病歴，病歴，病歴である!! の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志・有馬 丈洋 160(1)
木を見て森も見よ! の巻

…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 381(2)
患者の主訴を変換せよ! の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 552(3)

Emergency!! の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 780(5)

焦らぬことが一番である! の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 992(6)

痛む場所には何がある? の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 1205(7)

時には疫学を疑え! の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 1392(8)

敵を知れば百戦危うからず! の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 1604(9)

かくれんぼを終わらせろ! の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 1823(10)

賢い妻には情がある!? の巻
…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 2006(11)

Big Bang Boy! の巻

…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志 2235(12)

昨日元気で今日ショック!? の巻

…佐田 竜一・綿貫 聡・志水 太郎・
石金 正裕・忽那 賢志・有馬 丈洋 2454(13)

【依頼理由別に考える心臓超音波検査

とりあえずエコーの一步先へ】

依頼理由 | その 12 | 検査室を飛び出す心エコー〜カ
テーテル治療を支える心エコー〜

……………鶴田ひかる・香坂 俊 558(3)

【目でみるトレーニング】

問題	754	……………大西佐知子	166(1)
	755	……………大串 昭彦・杉岡 隆	167(1)
	756	……………梶原 祐策	168(1)
	757	……………井上 賀元	390(2)
	758	……………甲斐 基一	391(2)
	759	……………矢吹 拓	392(2)
	760	……………尾崎 青芽	574(3)
	761	……………矢吹 拓	575(3)
	762	……………梶原 祐策	576(3)
	763	……………大西佐知子	774(5)
	764	……………大串 昭彦・杉岡 隆	775(5)
	765	……………矢吹 拓	776(5)
	766	……………尾崎 青芽	998(6)
	767	……………田中 育太	999(6)
	768	……………曲渕 裕樹	1000(6)
	769	……………宮阪 英	1194(7)
	770	……………大熊 裕介	1195(7)
	771	……………濱田 修平	1196(7)
	772	……………桐野 洋平	1386(8)
	773	……………田中 育太	1387(8)
	774	……………寺田 修三	1388(8)
	775	……………大熊 裕介	1621(9)
	776	……………濱田 修平	1622(9)
	777	……………宮阪 英	1623(9)
	778	……………寺田 修三	1830(10)
	779	……………白野 倫徳	1831(10)
	780	……………添田 聖子	1832(10)
	781	……………田中 育太	2020(11)
	782	……………飯田 康	2021(11)
	783	……………大熊 裕介	2022(11)
	784	……………藤原 宏	2255(12)
	785	……………吉見 竜介	2256(12)
	786	……………浜 真麻	2257(12)
	787	……………谷口 浩和	2442(13)
	788	……………村尾 敏	2443(13)
	789	……………鈴木 克典	2444(13)

【総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける】		
必要な情報は積極的に問い合わせる	鈴木 紘史・見坂 恒明	172(1)
red flag sign を見逃さない	見坂 恒明	396(2)
尿道カテーテルを留置中の患者では尿色の変化に注意	見坂 恒明	571(3)
皮膚所見の陰に隠れた基礎疾患を見逃さない	見坂 恒明	771(5)
「患者の訴える部位」を丁寧に診察する	隈部 綾子・見坂 恒明	984(6)
海外渡航歴は直近だけでなく遡って聞く	松岡 保史・見坂 恒明	1222(7)
薬剤性の疾患は、薬剤開始直後に起きるとは限らない	松岡 保史・見坂 恒明	1376(8)
診断確定で満足せず、合併症も検索する	見坂 恒明	1599(9)
患者が自ら語らない症候を引き出す	山崎 海成・見坂 恒明	1838(10)
診断が難しい時こそ徹底討論による分析的推論を用いる	八幡 晋輔・見坂 恒明	2002(11)
病歴から想定される疾患を念頭に置き、注意深く身体診察する	隈部 綾子・見坂 恒明	2252(12)
患者がいつも真実を語るとは限らない	小佐見光樹・見坂 恒明	2448(13)

【Step up 腹痛診察】

50 歳女性、右下腹部痛、右鼠径部膨隆	酒見 智子・小林 健二	176(1)
46 歳男性、下腹部痛、血便	小林 健二	386(2)
43 歳女性、心窩部痛	小林 健二	582(3)
40 歳男性、心窩部痛、胸焼け	小林 健二	792(5)
24 歳女性、右下腹部痛	酒見 智子・小林 健二	980(6)
72 歳男性、心窩部痛	小林 健二	1212(7)
61 歳女性、臍周囲の疼痛	小林 健二	1400(8)
45 歳男性、心窩部痛	小林 健二	1617(9)

【研修医に贈る 小児を診る心得】

子どもの話を聴く	加藤 英治	180(1)
子どもに近づくために	加藤 英治	366(2)
病歴から診断する	加藤 英治	592(3)
病歴を推理する	加藤 英治	756(5)
ナラティブを読む	加藤 英治	978(6)
治療的自我を育てる	加藤 英治	1192(7)

【西方見聞録】

Interview とは面接なのか?	山口 典宏	182(1)
フェローシップ	山口 典宏	378(2)
Can you speak English?	山口 典宏	580(3)
“Fancy” な薬	山口 典宏	764(5)

Stress out	山口 典宏	1004(6)
“The emperor of all maladies”	山口 典宏	1210(7)
Adaptive Leadership	山口 典宏	1398(8)
0545-1730	山口 典宏	1590(9)
An internist in ER	山口 典宏	1842(10)
MAR	山口 典宏	2032(11)
優秀さの東西	山口 典宏	2250(12)
道半ば	山口 典宏	2452(13)

【失敗例から学ぶプレゼンテーション 患者説明から学会発表まで】

ビジーなスライド	竹本 文美・植田 育子・田中 雅美・八幡紘史	184(1)
質疑応答に対処する	植田 育子・田中 雅美・竹本 文美・八幡紘史	373(2)
双方向のプレゼン	竹本 文美・植田 育子・田中 雅美・八幡紘史	566(3)
裸の王様	八幡紘史・植田 育子・田中 雅美・竹本 文美	796(5)

【REVIEW & PREVIEW】

自己抗体の現在 いかに診療に結びつけるか	三森 経世	190(1)
ステロイド性骨粗鬆症の最新治療	宗圓 聰	406(2)
アルコール摂取と食道癌	廣橋研志郎・大橋 真也・ 天沼 裕介・武藤 学	594(3)
肝細胞癌の低侵襲療法	森實 敏夫	800(5)
PSA 検診の是非を問う	高野 利実	1011(6)
薬物性消化管傷害・溝上 裕士・岩本 淳一	1201(7)	
網膜血管径変化と全身疾患リスク	平山 敦士・川崎 良	1418(8)
自律神経と循環器疾患	廣岡 良隆	1634(9)
機能性ディスペプシア	三輪 洋人	2040(11)
腎移植	谷澤 雅彦	2262(12)

【読者質問コーナー 内科診療 ここが知りたい!】

めまいの患者さんを帰してよいのか、いつも悩みます。	[回答]塩尻 俊明	364(2)
感染性腸炎の診断と取り扱いは、どのようにすればよいのでしょうか?	[回答]永田 博司	551(3)
心尖拍動図からどのようなことがわかるのでしょうか?	[回答]黒木 茂広	762(5)

【SCOPE】

腎動脈内アブレーションが治療として確立されるには

— HTN3 試験でみえてきた問題点と今後の方向性
……………奥山 裕司 400(2)

【あたらしいリウマチ・膠原病診療の話】

リウマチ・膠原病診療の考え方— Thinking like a
rheumatologist……………萩野 昇 758(5)
関節症状へのアプローチ—「レントゲンは正常」問題、
あるいは「湿布と痛み止め出しときます」問題から
の脱却……………萩野 昇 1006(6)
関節・筋骨格・軟部組織の診察(Part 1) まず手より
始めよ……………萩野 昇 1216(7)
関節・筋骨格・軟部組織の診察(Part 2) 上下肢の診
察～肘・肩・膝・足……………萩野 昇 1404(8)
皮膚症状へのアプローチ—リウマチ性疾患の「画像診
断」のために……………萩野 昇 1610(9)
遷延する発熱：リウマチ科のみかた— pearls and
pitfalls……………萩野 昇 1844(10)
リウマチ性疾患の緊急事態……………萩野 昇 2026(11)

【診断力を上げる

循環器 Physical Examination のコツ】

頸静脈の診かた—心不全患者の診察では必須、体流量
の評価を行う……………山崎 直仁 766(5)
頸動脈の診かた—大動脈弁狭窄症では頸動脈の触診で
遅脈、小脈を触れる……………山崎 直仁 986(6)
心尖拍動の診かた—左室拡大、左室肥大の有無がわか
る……………山崎 直仁 1186(7)
右室拍動、そのほかの拍動の診かた
……………山崎 直仁 1380(8)
腹部、四肢の診かた……………山崎 直仁 1592(9)
I 音、駆出音の聴きかた……………山崎 直仁 1816(10)
II 音の聴きかた……………山崎 直仁 2012(11)
III 音の聴きかた……………山崎 直仁 2228(12)
IV 音、ギャロップの聴きかた……………山崎 直仁 2428(13)

【いま知りたい 肺高血圧症】

肺高血圧症の成因・病態
……………木岡 秀隆・瀧原 圭子 1994(11)
見逃してはいけない肺高血圧の検査所見
……………池田 聡司・古賀 聖士・前村 浩二 2244(12)
肺高血圧症治療薬の進歩……………渡邊 裕司 2460(13)

【Choosing Wisely Japan

—その検査・治療、本当に必要ですか？】

ケース：90 代男性、認知症の進行・食欲低下
……………徳田 安春 1999(11)
ケース：40 代男性、蕁麻疹……………徳田 安春 2241(12)
ケース：60 代女性、血清 TC 高値
……………徳田 安春 2425(13)

【これだけは知っておきたい検査のポイント第 9 集 (増刊号)】

■ 臨床検査の標準化

臨床検査値の JCCLS 共用基準範囲とその利用

……………康 東天 10(4)
臨床検査の精度管理……………細萱 茂実 14(4)
臨床検査室の第三者認定……………久保野勝男 18(4)
コンパニオン診断薬／コンパニオン診断検査の現状と
課題……………登 勉 22(4)

■ 一般検査

〈尿検査〉

尿定性検査(尿試験紙検査)……………菊池 春人 28(4)
尿沈渣検査……………菊池 春人 31(4)

〈糞便検査〉

便潜血検査……………今福 裕司 34(4)
寄生虫検査……………今福 裕司 38(4)

〈髄液その他の穿刺液〉

胸水・腹水検査……………三宅 一徳 40(4)
髄液検査……………渡邊 卓 42(4)

■ 血液検査

〈血球検査〉

赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値、
赤血球指数、網赤血球数
……………小林 匡洋・張替 秀郎 46(4)
溶血性疾患の検査(赤血球浸透圧抵抗試験, Coombs
試験, PNH 関連検査)……………和田 秀穂 49(4)
白血球数、白血球分類……………東田 修二 53(4)
血小板数……………矢富 裕 56(4)
末梢血液像……………佐藤 尚武 59(4)
骨髓像……………東田 修二 64(4)
特殊染色……………東田 修二 66(4)
細胞表面マーカー……………小池由佳子 68(4)
造血器腫瘍の遺伝子・染色体検査
……………宮地 勇人 72(4)
EPO(エリスロポエチン)……………小松 則夫 76(4)
TPO(トロンボポエチン)……………小松 則夫 78(4)

〈血栓・止血検査〉

出血時間……………高蓋 寿朗 80(4)
血小板凝集能……………矢富 裕 82(4)
血小板活性化マーカー……………大森 司 84(4)
von Willebrand 因子……………高蓋 寿朗 87(4)
ADAMTS13……………高蓋 寿朗 90(4)
PT(プロトロンビン時間), APTT(活性化部分
トロンボプラスチン時間)……………清田 育男 92(4)
トロンボテスト, ヘパプラスチンテスト
……………清田 育男 96(4)
フィブリノゲン……………清田 育男 98(4)
アンチトロンビン
……………高木 夕希・小嶋 哲人 100(4)
凝固活性化マーカー—TAT, F1+2,

可溶性フィブリン……………	朝倉 英策	102(4)
線溶活性化マーカー— FDP, D-ダイマー, PIC……………	朝倉 英策	105(4)
プロテイン C, プロテイン S ……………	村田 萌・小嶋 哲人	108(4)
血液凝固因子, インヒビター……………	大森 司	110(4)
HIT 抗体検査……………	金子 誠	112(4)
血管内皮マーカー……………	高蓋 寿朗	115(4)
■ 血液生化学検査など		
〈蛋白〉		
血清総蛋白(TP)……………	濱田 悦子・前川 真人	118(4)
アルブミン……………	濱田 悦子・前川 真人	120(4)
蛋白分画……………	濱田 悦子・前川 真人	122(4)
栄養アセスメント蛋白……………	安東由喜雄	126(4)
免疫電気泳動……………	藤田 清貴	130(4)
ハプトグロビン ……………	田中 寿幸・林 由里子・藤田 清貴	134(4)
免疫グロブリン ……………	林 由里子・田中 寿幸・藤田 清貴	136(4)
補体……………	秋山 雄次	139(4)
クリオグロブリン血症……………	秋山 雄次	142(4)
Bence Jones 蛋白……………	藤田 清貴	144(4)
免疫グロブリン遊離 L 鎖κ/λ比……………	増田亜希子	148(4)
可溶性 IL-2 レセプター……………	増田亜希子	150(4)
肺線維化マーカー(KL-6, SP-A, SP-D) ……………	田中 康隆・滝澤 始	152(4)
骨代謝マーカー— DPD, NTX, CTX, TRACP-5b, BAP, OC, PINP, ucOC ……………	荒井 誠・竹内 靖博	155(4)
〈炎症マーカー, 感染マーカー〉		
CRP(C 反応性蛋白)……………	松尾 収二	159(4)
赤沈(赤血球沈降速度)……………	松尾 収二	162(4)
プロカルシトニン, プレセプシン ……………	遠藤 重厚	164(4)
エンドトキシン……………	遠藤 重厚	168(4)
β-D-グルカン……………	遠藤 重厚	170(4)
カルプロテクチン……………	佐藤 宏和・穂苅 量太	172(4)
〈窒素化合物, 腎機能検査〉		
BUN(血中尿素窒素) ……………	広浜大五郎・下澤 達雄	174(4)
尿酸……………	神保 りか・下澤 達雄	176(4)
アンモニア……………	神保 りか・下澤 達雄	180(4)
クレアチニン, クレアチン ……………	宮川 太郎・和田 隆志	182(4)
Ccr(クレアチニンクリアランス) ……………	相良 明宏・古市 賢吾・和田 隆志	185(4)
シスタチン C, ペントシジン ……………	篠崎 康之・古市 賢吾・和田 隆志	188(4)
〈酵素, 肝機能検査〉		
LD(乳酸デヒドロゲナーゼ)とそのアイソザイム		

……………	前川 真人	192(4)
AST(GOT), ALT(GPT)……………	野村 文夫	195(4)
ALP とそのアイソザイム ……………	清宮 正徳・野村 文夫	197(4)
γ-GT(γ-グルタミルトランスフェラーゼ), LAP(ロイシニアミノペプチダーゼ) ……………	野村 文夫・澤部 祐司	199(4)
コリンエステラーゼ(ChE)……………	榎奥健一郎	202(4)
ICG 試験(インドシアニンググリーン試験) ……………	榎奥健一郎	204(4)
ビリルビン……………	榎奥健一郎	206(4)
IV型コラーゲン, ヒアルロン酸……………	池田 均	208(4)
アミラーゼとそのアイソザイム ……………	村木 崇・川 茂幸	210(4)
リパーゼ, エラスターゼ I, トリプシン ……………	村木 崇・川 茂幸	213(4)
心筋マーカー—心筋型脂肪酸結合蛋白, ミオグロビン, トロポニン T, トロポニン I, ミオシン軽鎖 ……………	石井 潤一	216(4)
CK(クレアチンキナーゼ)とそのアイソザイム ……………	石井 潤一	219(4)
ALD(アルドラーゼ)……………	石井 潤一	222(4)
ADA(アデノシンデアミナーゼ)……………	涌井 昌俊	226(4)
酸性ホスファターゼ(ACP)……………	涌井 昌俊	228(4)
〈糖代謝検査〉		
グルコース……………	窪田 直人	231(4)
HbA1c(グリコヘモグロビン)……………	窪田 直人	235(4)
グリコアルブミン……………	武井 泉	238(4)
尿中アルブミン……………	武井 泉	240(4)
1,5-AG(1,5-anhydroglucitol)……………	山内 俊一	242(4)
インスリン, C-ペプチド……………	山内 俊一	245(4)
抗インスリン抗体……………	松村 卓郎・谷澤 幸生	248(4)
抗 GAD 抗体……………	末富 吏佐・谷澤 幸生	250(4)
抗インスリン受容体抗体 ……………	末富 吏佐・谷澤 幸生	253(4)
血中ケトン体……………	窪田 直人	255(4)
乳酸, ピルビン酸……………	窪田 直人	258(4)
〈脂質・リポ蛋白〉		
総コレステロール, LDL コレステロール, HDL コレ ステロール……………	平山 哲・三井田 孝	262(4)
TG(トリグリセライド)……………	三井田 孝	265(4)
リポ蛋白分画……………	野尻 卓宏・蔵野 信	268(4)
アポ蛋白分画……………	野尻 卓宏・蔵野 信	272(4)
Lp(a) [リポ蛋白(a)]……………	蔵野 信	276(4)
〈電解質・微量金属・浸透圧〉		
Na, K, Cl……………	林 松彦	278(4)
Ca, P……………	林 恭乗・竹内 靖博	281(4)
マグネシウム……………	大和 梓・竹内 靖博	284(4)
銅……………	小倉彩世子・下澤 達雄	286(4)
亜鉛……………	広浜大五郎・下澤 達雄	288(4)

フェリチン, 血清鉄と鉄結合能	辻岡 貴之・通山 薫	290(4)
血漿浸透圧	林 松彦	294(4)
〈血液ガス分析〉		
pH, HCO_3^- , base excess, PaCO_2 , PaO_2 , SaO_2	諏訪部 章	296(4)
〈ビタミン〉		
ビタミン B_{12} , 葉酸	橋詰 直孝・佐藤 裕子	300(4)
ビタミン A, B_1 , B_2 , B_6 , D, E	橋詰 直孝・佐藤 裕子	302(4)
■ 薬物関連検査		
〈血中薬物濃度〉		
抗てんかん薬, 向精神薬	岡島 由佳	306(4)
強心薬	山口 諒・山本 武人・鈴木 洋史	308(4)
抗菌薬	山口 諒・山本 武人・鈴木 洋史	310(4)
免疫抑制薬	中澤 勇一	312(4)
〈薬物感受性遺伝子検査, 薬剤リンパ球刺激試験〉		
ワルファリン治療関連遺伝学的検査—チトクローム P450(CYP)2C9 遺伝子多型検査, ビタミン K エポキシド還元酵素 C1 サブユニット(VKORC1) 遺伝子多型検査	中谷 中	315(4)
<i>Helicobacter pylori</i> 除菌関連遺伝子検査— <i>pylori</i> 菌ク		
ラリスロマイシン耐性遺伝子検査, チトクローム P450(CYP)2C19 遺伝子検査	中谷 中	318(4)
免疫抑制薬関連遺伝学的検査—チトクローム P450 (CYP)3A5 遺伝子多型検査	中谷 中	321(4)
がん薬物療法関連(UGT1A1, TPMT, DPD)	加藤有紀子・安藤 雄一	324(4)
薬剤リンパ球刺激試験	山口 正雄	327(4)
■ 内分泌学の検査		
〈下垂体〉		
GH(成長ホルモン)	三木 伸泰・小野 昌美	330(4)
TSH(甲状腺刺激ホルモン)	木村 孝穂・村上 正巳	332(4)
PRL(プロラクチン), LH(黄体化ホルモン), FSH(卵胞刺激ホルモン)	小野 昌美・三木 伸泰	335(4)
ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)	庄司 優	339(4)
ADH(抗利尿ホルモン, バソプレシン)	庄司 優	342(4)
〈甲状腺・副甲状腺〉		
T_4 (サイロキシン), FT_4 (free T_4), T_3 (3,5,3'-トリヨードサイロニン), FT_3 (free T_3)	木村 孝穂・村上 正巳	345(4)
Tg(サイログロブリン), TBG(サイロキシン結合グロブリン)	日高 洋	348(4)

抗サイログロブリン抗体	日高 洋	350(4)
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗甲状腺マイクログロブリン抗体)	日高 洋	352(4)
TSH レセプター抗体	常川 勝彦・村上 正巳	354(4)
尿中総ヨウ素	常川 勝彦・村上 正巳	357(4)
カルシトニン	盛田 幸司・江戸 直樹・石川 敏夫	360(4)
PTH(副甲状腺ホルモン), PTHrP(副甲状腺ホルモン関連蛋白)	江戸 直樹・盛田 幸司・石川 敏夫	363(4)
〈副腎・腎〉		
コルチゾール	二川原 健・大門 真	366(4)
アルドステロン	保嶋 実	369(4)
レニン	保嶋 実	372(4)
血中・尿中カテコールアミン	磯部 和正	374(4)
尿中メタネフリン, 尿中 VMA	磯部 和正	376(4)
〈性腺〉		
hCG(ヒト絨毛性ゴナドトロピン)	岩原 由樹・久保田俊郎	378(4)
エストロゲン(エストラジオール, 尿中エストリオール), プロゲステロン	岩原 由樹・久保田俊郎	380(4)
テストステロン	寺井 一隆・堀江 重郎	384(4)
〈その他のホルモン〉		
ANP(A 型ナトリウム利尿ペプチド), BNP(NT-proBNP, B 型ナトリウム利尿ペプチド)	石井 潤一	386(4)
■ 免疫学的検査		
〈アレルギー検査〉		
IgE	山口 正雄	392(4)
アレルギー特異的 IgE 抗体	山口 正雄	395(4)
〈自己免疫関連検査〉		
抗核抗体	窪田 哲朗	398(4)
抗 RNP 抗体	窪田 哲朗	400(4)
抗 DNA 抗体	窪田 哲朗	402(4)
抗 Sm 抗体	上阪 等	404(4)
抗 Scl-70 抗体	上阪 等	406(4)
リウマトイド因子	小柴 賢洋	408(4)
MMP-3, 抗 CCP 抗体	小柴 賢洋	411(4)
抗 Jo-1 抗体, 抗 ARS 抗体	太原恒一郎・沢田 哲治	414(4)
抗 SS-A/Ro 抗体, 抗 SS-B/La 抗体	太原恒一郎・沢田 哲治	416(4)
抗アセチルコリン受容体抗体, 抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体	鈴木 秀和・楠 進	418(4)
抗ミトコンドリア抗体	平形 道人	420(4)
肝腎ミクロソーム-1 抗体	小池 和彦・銭谷 幹男	424(4)
抗平滑筋抗体	小池 和彦・銭谷 幹男	426(4)

抗胃壁細胞抗体, 抗内因子抗体…今福 裕司	428(4)
抗リン脂質抗体……………家子 正裕	430(4)
抗血小板抗体…………渡邊 直英・半田 誠	433(4)
抗好中球細胞質抗体(ANCA) ……………大久保光修・平橋 淳一	435(4)
抗糸球体基底膜抗体 ……………大久保光修・平橋 淳一	438(4)
免疫複合体……………秋山 雄次	440(4)
抗アクアポリン4抗体 ……………高橋 利幸・藤原 一男	443(4)
天疱瘡・類天疱瘡関連抗体…………青山 裕美	445(4)
■輸血・移植関連検査	
血液型試験……………村上 純子	448(4)
交差適合試験……………村上 純子	452(4)
抗グロブリン試験(Coombs 試験) ……宮崎 孔・佐藤進一郎・池田 久實	456(4)
不規則抗体 ……宮崎 孔・佐藤進一郎・池田 久實	459(4)
HLA 系と HLA タイピング ……………渡邊 直英・半田 誠	462(4)
■腫瘍マーカー	
〈消化器系〉	
AFP, AFP-L3 分画 ……………佐藤 雅哉・池田 均	466(4)
PIVKA-II……………佐藤 雅哉・池田 均	470(4)
CA19-9(糖鎖抗原 19-9) ……………廣田 衛久・下瀬川 徹	472(4)
CA50, SPan-1, DU-PAN-2 ……濱田 晋・正宗 淳・下瀬川 徹	474(4)
NCC-ST-439 ……濱田 晋・正宗 淳・下瀬川 徹	476(4)
〈呼吸器系〉	
CYFRA21-1……………永田 泰自	478(4)
NSE, proGRP, SLX……………永田 泰自	480(4)
〈乳腺・婦人科系〉	
CA125, CA130, CA602 ……………長阪 一憲・矢野 哲	484(4)
CA15-3, BCA225, 血清 HER2 蛋白 ……………多田 寛・大内 憲明	486(4)
〈泌尿器系〉	
PSA, γ -セミノプロテイン, PAP ……………武内 巧	489(4)
BTA, NMP22……………武内 巧	492(4)
〈非特異マーカー〉	
CEA(癌胎児性抗原)……………末広 寛	494(4)
SCC 抗原……………永田 泰自	496(4)
抗 p53 抗体 ……船橋 公彦・谷島 聡・島田 英昭	498(4)
■微生物学的検査	
〈細菌同定検査〉	

グラム染色 ……吉田麻衣子・森永 芳智・柳原 克紀	502(4)
喀痰微生物検査 ……塚本 千絵・小佐井康介・柳原 克紀	506(4)
尿培養……………熊坂 一成	508(4)
便細菌検査……………熊坂 一成	510(4)
血液培養検査……………松本 哲哉	512(4)
髄液の微生物学的検査……………大楠 清文	514(4)
質量分析による細菌同定 ……………野村 文夫・村田 正太	518(4)
〈感受性検査〉	
薬剤感受性試験—MIC, ディスク法 ……………大野 章	522(4)
〈細菌関連検査〉	
溶連菌……………辻 章志	528(4)
ASO, ASK……………辻 章志	530(4)
インフルエンザ菌…生方 公子・岩田 敏	532(4)
肺炎球菌……………生方 公子・岩田 敏	534(4)
レジオネラ……………三木 誠・渡辺 彰	536(4)
マイコプラズマ……………宮下 修行	539(4)
クラミジア……………福地 邦彦	542(4)
淋菌……………福地 邦彦	544(4)
梅毒血清反応……………鷺野 巧弥・大西 健児	546(4)
結核・非結核性抗酸菌……………佐々木結花	548(4)
<i>Helicobacter pylori</i> ……………山口 太輔・藤城 光弘	551(4)
〈ウイルス関連検査〉	
インフルエンザウイルス……………畠山 修司	554(4)
ヒトメタニューモウイルス ……………鈴木 琢光・畠山 修司	557(4)
A 型肝炎ウイルス関連検査……………八橋 弘	559(4)
B 型肝炎ウイルス関連検査……………八橋 弘	561(4)
C 型肝炎ウイルス関連検査 ……………井上 貴子・田中 靖人	564(4)
そのほかの肝炎ウイルス関連検査—D 型肝炎ウイルス, E 型肝炎ウイルス ……………松居 剛志・田中 靖人	568(4)
風疹ウイルス, 麻疹ウイルス ……………南波 広行・和田 靖之	571(4)
ムンプスウイルス……………和田 靖之	574(4)
HTLV-1……………内丸 薫	576(4)
HIV-1, HIV-2……………古賀 道子	578(4)
単純ヘルペスウイルス(HSV), 水痘帯状疱疹ウイルス (VZV)……………寺田 喜平	582(4)
EB ウイルス……………岡村 隆行	585(4)
サイトメガロウイルス……………安川 正貴	588(4)
ロタウイルス……………前田 明彦	590(4)
ノロウイルス……………前田 明彦	592(4)
ヒトパピローマウイルス(HPV)遺伝子 ……………川名 敬	595(4)

〈その他〉

つつが虫病

……岡山 昭彦・橘 宣祥・長友 安弘 598(4)

真菌抗原・抗体……………渡辺 晋一 600(4)

マラリア……………金子 明 603(4)

■ 遺伝子検査と染色体検査

悪性腫瘍の遺伝子検査— *EGFR* 変異, *KRAS* 変異,

HER2 増幅など……………宮地 勇人 608(4)

遺伝病の DNA 診断……………宮地 勇人 612(4)

染色体検査……………涌井 敬子 615(4)

索引……………620(4)